

ダイオキシン類測定結果報告書

〇〇年〇〇月〇〇日

川越市長 殿

届出者

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名  
(電話番号)

〇〇株式会社  
〇〇県〇〇市〇〇1-1-1  
代表取締役 〇〇 〇〇  
〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第28条第3項の規定により、次のとおり報告します。

表1 排出ガス

採取年月日及び時刻(開始時刻～終了時刻)	排出ガス量(m <sup>3</sup> /日)	排出ガス中の酸素濃度(%)	測定箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	試料採取者	分析者	備考
〇.〇.〇 (10:00～14:00)	10,000	14.0	煙突	廃棄物焼却炉 通常稼働	〇.〇.〇	0.010	〇〇〇	〇〇〇	1

結果が複数の場合は番号を別紙の整理番号と対応するよう記入

表2 排水

採取年月日及び時刻	乾きガス量を記入 時間排ガス量×日当たりの使用時間	測定箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/L)	試料採取者	分析者	備考

表3 ばいじん等

採取年月日及び時刻	試料の種類	採取箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/g)	試料採取者	分析者	備考
〇.〇.〇 12:00	焼却灰	灰取出口	廃棄物焼却炉 通常稼働	〇.〇.〇	0.20	〇〇〇	〇〇〇	2
〇.〇.〇 12:00	ばいじん	集塵灰取出口	廃棄物焼却炉 通常稼働	〇.〇.〇	0.10	〇〇〇	〇〇〇	3

- 備考
- 1 報告書及び別紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（以下「規則」という。）第3条第1項に基づき換算した測定結果については、別紙1を添付するものとする。
  - 3 規則第3条第2項に基づき換算した測定結果については、別紙2を添付するものとする。
  - 4 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙1又は2のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。
  - 5 排出ガスにあっては表1、排水にあっては表2、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻（以下「ばいじん等」という。）にあっては表3に記載すること。なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。
  - 6 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
  - 7 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあつては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。
  - 8 表3の試料の種類として、ばいじん、焼却灰、混合灰又はこれらの処理物（処理方法）の別を記載すること。

規則第 3 条第 1 項に基づき換算したダイオキシン類の構成

整理番号	実濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等 価係数	毒性等量
結果が複数の場合、備考の番号と合うように記入ください。	2,3,7,8-TeCDF			0.1	
	1,2,3,7,8-PeCDF			0.03	
	3,4,7,8-PeCDF				
ゾフラン	2,3,4,6,7,8-HxCDF				
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			0.01	
	1,2,3,4,7,8-PeCDF			0.01	
	OCDF			0.0003	
	Total PCDFs		—	—	
ポリ塩化ジベンゾ パラジオキシン	2,3,7,8-TCDF			1	
	1,2,3,7,8-PeCDF			1	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF			0.1	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF			0.1	
	1,2,3,7,8-PeCDD				
	1,2,3,4,7,8-PeCDD				
	OCDD				
Total PCDDs					
Total (PCDFs+PCDDs)		—	—	—	
コプラナーポリ塩化ビフェニル	3,4,4',5'-TeCB(#81)			0.0003	
	3,3',4,4'-TeCB(#77)			0.0001	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)			0.1	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)			0.03	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)			0.00003	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)			0.00003	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)			0.00003	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)			0.00003	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)			0.00003	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)			0.00003	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)			0.00003	
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)			0.00003		
Total コプラナーPCB		—	—	—	
Total ダイオキシン類		—	—	—	

分析の実測濃度を記入してください。  
(酸素濃度換算値ではありません)

分析の実測濃度を記入してください。  
(酸素濃度換算値ではありません)

測定機関による測定値を転記してください。

※計量証明書の写しを添付してください。

備考 1 排出ガスの測定結果を記入する場合にあっては、単位をng/m<sup>3</sup>（毒性等量にあっては、ng-TEQ/m<sup>3</sup>。）、排出水の測定結果を記入する場合にあっては、単位をpg/L（毒性等量にあっては、pg-TEQ/L。）とし、ばいじん等の測定結果を記入する場合にあっては、単位をng/g（毒性等量にあっては、ng-TEQ/g。）とする。  
 2 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載すること。  
 3 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“ND”と記載すること。  
 4 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を零として算出すること。  
 5 規則第 2 条第 1 項第 4 号の規定に基づき環境大臣が定める方法により測定を行った場合は、備考欄に測定に用いた方法を記載すること。  
 6 用語の定義は、日本産業規格 K0311、K0312 又は規則第 2 条第 1 項第 4 号の規定に基づき環境大臣が定める方法によること。  
 7 整理番号は、測定結果が複数の場合に記入すること。

規則第 3 条第 2 項に基づき換算したダイオキシン類の測定方法

整理番号	測定方法	実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	測定量 (毒性等量)	備 考

**測定機関の測定値を転記してください。**

**※計量証明書の写しを添付してください。**

備考 1 排出ガス  
じん等の  
測定方法  
を記載すること。

し、ば  
に用い

**結果が複数の場合、備考の  
番号と合うように記入ください。**

- 7 濃度の項においては、2 の測定方法により測定された標準溶液相当濃度を記載すること。  
 下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字を記載すること。  
 下限未満のものは“ND”と記載すること。  
 定量（毒性等量）は、零とすること。
- 7 用語の定義は、規則第 2 条第 1 項第 4 号の規定に基づき環境大臣が定める方法によること。
- 8 整理番号は、測定結果が複数の場合に記入すること。